

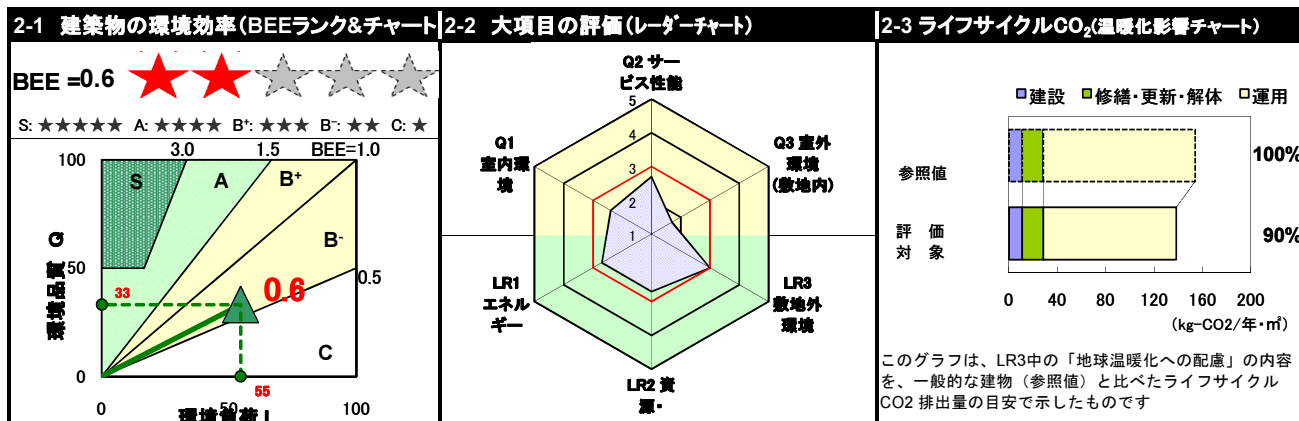


新築[簡易版]

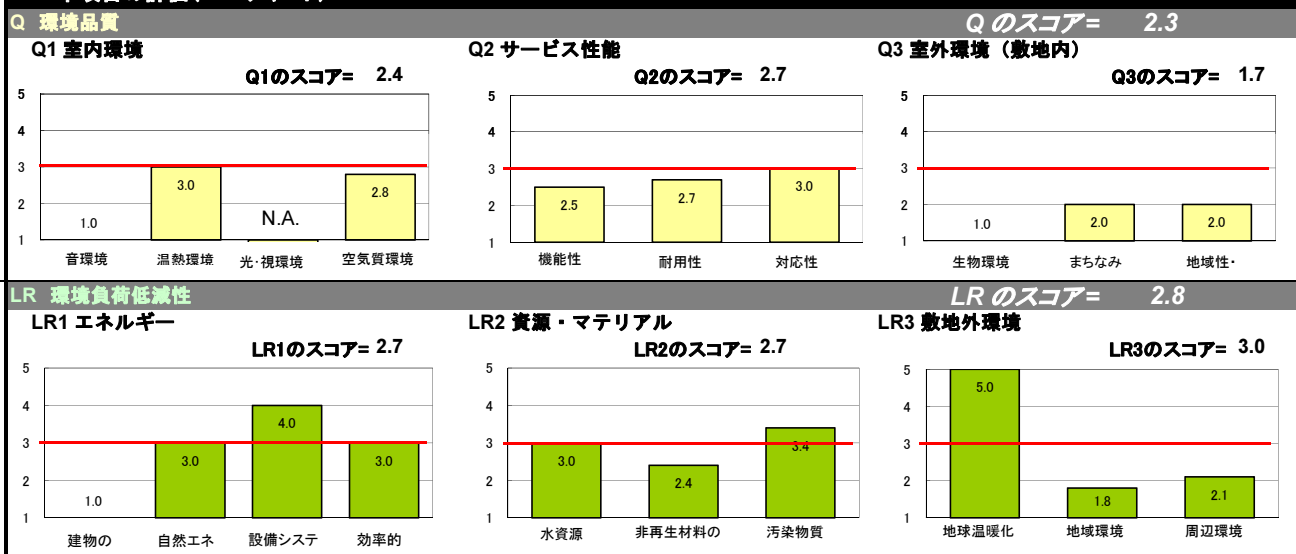
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	スーパードーム	階数	地上5階	外観/パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	
建設地	京都府京都市	構造	S造		
用途地域	0	平均居住人員	0 人		
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,200 時間/年		
建物用途	集会所,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	1900年1月 予定	評価の実施日	2010年1月20日		
敷地面積	0 m ²	作成者			
建築面積	0 m ²	確認日			
延床面積	11,299 m ²	確認者			



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合			その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 マルチユニット型、パッケージユニット型空調機を採用			注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される